



街路樹



授業スタンダード ②

～授業スタンダードで改善する～



「電話相談より」教育相談室

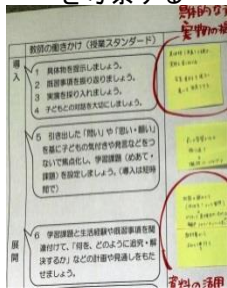
「K子さんの伝えたいことがよく分からなくて生かせず、Y男さんの考えもうまくつなげられませんでした。」授業後の、若い先生のがっかりしたつぶやきが書かれています。このがっかりしている理由を考えると、一人ひとりの子どもの現状をしっかりと見取ったり、意見を生かそうとしていたりしている姿勢が窺えます。



このような視点での反省は、授業改善の面で効果的であると考えます。

授業を改善するため「授業スタンダード」をどのように授業づくりに活用していけばよいかを総合教育センターでも検討しています。検討しているものは、以下のものです。

- ① 教師の働きかけからの視点
- ② (予想される)子どもの姿からの視点
- ③ 教師と子どもの活動している空間から、効果的な場面を考察する



①の案として、スタンダードの「教師の働きかけ」に関する内容を授業の流れに沿って意識できるよう、縦に並べてみました。横には具体的な内容を書き込めるようにしています。これを各研修等で活用していきたいと考えています。

さて、スタンダードの中に、「教えるは、学ぶの半ばなり。」(書経)との言葉も書かれています。人にもものを教えるために

は、自分自身が勉強してよく理解していなければということ。また、人に何かを教えるときには、半分は、自分にとっての勉強になるということでもあります。指導を振り返ることで、課題を明確にしながら、学び続ける教師を目指したいものです。各校でも、「授業スタンダード」を生かしながら、自校化を図り、日々の授業を改善していきましょう。



教育相談室の電話相談は、殆どが母親からのものですが、最近は、祖母からの電話相談が多くなってきたように感じます。

その内容は、孫の「不登校」に関するものが多いです。母親が仕事で忙しくしており、子どもにあまり関われないため、孫の将来を心配し、電話をしてくるのだと思います。

今、子どもの貧困が社会的問題になっていますが、このような相談を受けると子どもの心の貧困さも見えてきます。

子どもは、両親、特に母親からの愛情を受けなければならない時期に受けられないと、コミュニケーション力や忍耐力の欠如、母子分離不安などが原因となり、学校生活に適応できず、不登校傾向になってしまうことが多くあります。

また、乳幼児期に親に十分に甘えられていない場合は、友達にいじわるな言葉を投げかけてしまうことも多く見受けられます。

このような子どもには、カウンセリング・マインドでじっくりと不安や悩みを受けとめてあげましょう。また、保護者に課題がある場合には、専門のカウンセラーやソーシャルワーカー、医師などとの連携が有効です。

心の貧困を抱える子どもの支援のためには、時間はかかってしまいますが、それでも、常に子どもたちの心に寄り添っていきたいものです。



道徳教育「考え、議論する道徳への転換のために」

道徳教育に係る評価の在り方に関する専門家会議より平成28年7月22日に出された「特別の教科道徳」の指導方法・評価等について(報告)の中に「道徳科における質の高い多様な指導方法について」がまとめられています。(※道徳主任等研修において配付済)これらは、「多様な指導方法の一例」であり、「指導の『型』」ではないので注意するようにと前置きをされていますが、『考え、議論する道徳』への転換を図るために、各校が、各教員が、これから取り組むべき方向性を確認するのにとても参考になります。児童生徒の実態を考慮しながら、転換を考えていきましょう。そして、『考え、議論する道徳』への転換を図るためにはどうしたらよいか」という課題を持ちながら道徳の授業に取り組んでいき、「互いに高め合うために」「自分の授業を振りかえるために」次のような視点を持って授業を見合っはいかでしょうか。



7	目的を持って指導方法を活用しているか。
☆	児童生徒が多面的・多角的に考えさせているか。
☆	児童生徒が自分との関わりで考えられるようにしているか。
☆	児童生徒が自己を見つめ、生き方について考えを深めているか。
終末段階 1	児童生徒が学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめることがで

※『特別の教科道徳』授業参観の視点」一部掲載。詳細は、総合教育センターHP(▶研修の参考資料)をご覧ください。



また、「実際の授業を参観してみたい」「『考え、議論する道徳』のイメージをふくらませたい」という方には、9月28日開催予定の『道徳教育実践講座』の参加や授業や資料などの参考事例を集めた文部科学省の専用サイト『道徳教育アーカイブ』(<https://doutoku.mext.go.jp/>)の視聴をお勧めします。